

# 1.業績概要

# 平成26年度中間決算の概要(連結・3行単体合算)

- ◆経費が4億円減少したものの、貸出金利回りの低下による資金利益の減少、役員取引等利益の減少等により、コア業務純益は前年同期比19億円減少。
- ◆貸倒引当金戻入益の減少もあり、過去最高益であった前年同期比較では24億円減少して中間純利益は134億円。

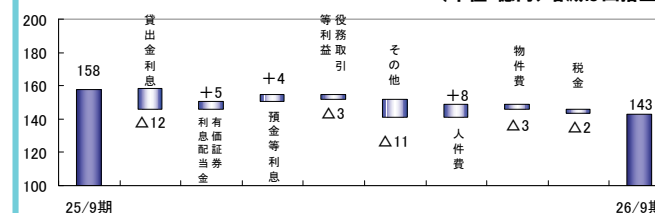
(億円)

	YMFG連結		3行合算				
		前年同期比		前年同期比	山口	もみじ	北九州
経常収益	749	△ 79	695	△ 42	△ 19	△ 24	0
コア業務粗利益	555	△ 23	527	△ 16	△ 2	△ 15	0
資金利益	469	△ 3	473	△ 3	6	△ 10	0
役員取引等利益	81	△ 6	60	△ 2	△ 2	△ 1	0
その他業務利益	43	16	43	30	27	3	△ 0
経費(△) (除く臨時処理分)	424	△ 4	383	△ 2	△ 2	△ 1	1
人件費(△)	-	-	166	△ 7	△ 6	△ 1	△ 0
物件費(△)	-	-	194	2	3	△ 1	1
コア業務純益	130	△ 19	143	△ 14	0	△ 13	△ 1
経常利益	210	△ 42	225	△ 24	△ 15	△ 18	8
中間純利益	134	△ 24	155	△ 8	△ 2	△ 12	6
与信関係費用	△ 26	11	△ 27	10	15	4	△ 9

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

## コア業務純益(3行合算)

(単位:億円、増減は四捨五入)



## 資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	26/9期	前年同期比
資金利益	473	△ 3
資金運用収益	513	△ 7
貸出金利利息	394	△ 12
有価証券利息	96	3
資金調達費用	39	△ 3
預金利息	33	△ 3

## 連単差

3行合算中間純利益	155億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△24億円
F G連結調整等	1億円
子銀行連結調整	1億円
YMFG連結中間純利益	134億円

※ もみじ銀行のれん償却は8年度目。平成28年度に償却終了。

# 山口銀行の平成26年度中間決算概要

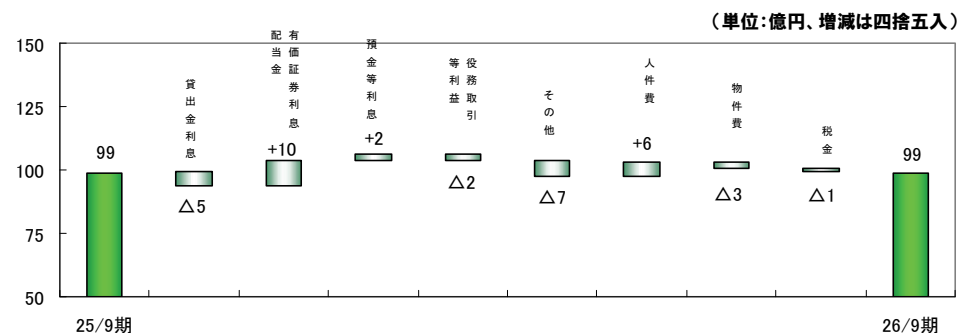
- ◆貸出金利息の減少幅が縮小し、資金利益は増加に反転。コア業務純益は前年同期比微増の99億円。
- ◆与信関係費用が増加(貸倒引当金戻入益が減少)し、中間純利益は前年同期比2億円減少の98億円。

	(億円)	
	26/9期	前年同期比
経常収益	405	△ 35
業務粗利益	325	31
資金利益	258	6
役務取引等利益	37	△ 2
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	28 (35)	27 (33)
経費(除く臨時処理分)(△)	189	△ 2
うち人件費(△)	78	△ 6
うち物件費(△)	100	3
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	135	33
<b>コア業務純益</b>	<b>99</b>	<b>0</b>
臨時損益	12	△ 48
うち株式等関係損益	3	△ 25
うち不良債権処理額(△) ②	0	△ 0
うち貸倒引当金戻入益 ③	10	△ 16
うち償却債権取立益 ④	0	0
経常利益	147	△ 15
特別損益	△ 0	5
税金等調整前中間純利益	147	△ 9
<b>中間純利益</b>	<b>98</b>	<b>△ 2</b>
与信関係費用(①+②-③-④)	△ 10	15

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益 99億円(前年同期比 +0億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益 39億円(前年同期比 +7億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
国債等債券損益	35	33
売却損益	35	27
償還損益	△0	5
株式等損益	3	△25
売却損益	3	△25
償却額(減損処理)(△)	-	-

## 与信関係費用 △10億円(前年同期比 +15億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△10	15
個別貸倒引当金繰入額	0	0

# もみじ銀行の平成26年度中間決算概要

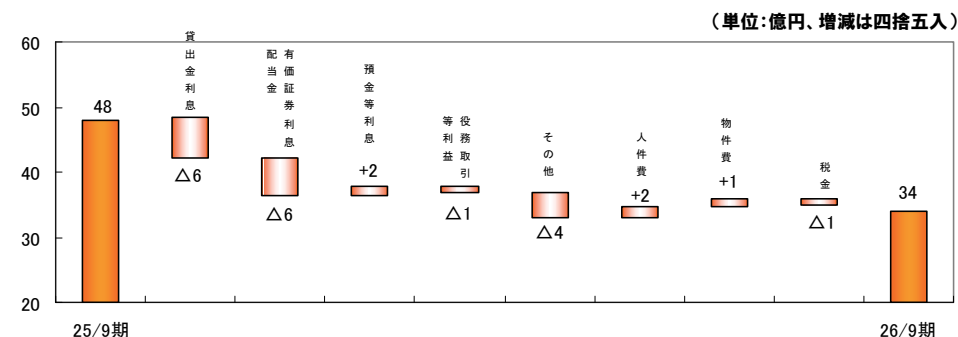
- ◆ 資金利益の減少を主因に、コア業務純益は前年同期比13億円減少。
- ◆ 与信関係費用が増加(貸倒引当金戻入益が減少)し、中間純利益は前年同期比12億円減少の45億円。

	(億円)	
	26/9期	前年同期比
経常収益	245	△ 32
業務粗利益	198	△ 8
資金利益	165	△ 10
役務取引等利益	19	△ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	13 (15)	3 (7)
経費(除く臨時処理分)(△)	148	△ 1
うち人件費(△)	67	△ 1
うち物件費(△)	72	△ 1
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-
業務純益	50	△ 6
<b>コア業務純益</b>	<b>34</b>	<b>△ 13</b>
臨時損益	10	△ 12
うち株式等関係損益	3	△ 8
うち不良債権処理額(△) ②	1	△ 0
うち貸倒引当金戻入益 ③	8	△ 7
うち償却債権取立益 ④	2	2
経常利益	60	△ 18
特別損益	△ 0	1
税金等調整前中間純利益	60	△ 17
<b>中間純利益</b>	<b>45</b>	<b>△ 12</b>
与信関係費用(①+②-③-④)	△ 10	4

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益 34億円(前年同期比 △13億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益 18億円(前年同期比 △1億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
国債等債券損益	15	7
売却損益	16	3
償還損益	△0	3
株式等損益	3	△8
売却損益	3	△8
償却額(減損処理)(△)	0	△0

## 与信関係費用 △10億円(前年同期比 +4億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△8	8
個別貸倒引当金繰入額	0	△1

# 北九州銀行の平成26年度中間決算概要

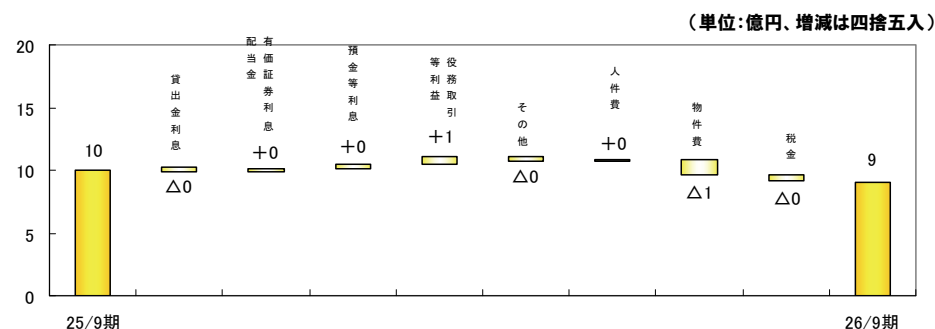
- ◆ **資金利益、役務取引等利益ともに増加するも、積極的な営業展開に伴う経費増加のためコア業務純益は前年同期比1億円減少。**
- ◆ **一方で、与信関係費用の減少(貸倒引当金戻入益の計上)により、中間純利益は前年同期比6億円増加の10億円。**

(億円)		
	26/9期	前年同期比
経常収益	71	8
業務粗利益	54	0
資金利益	49	0
役務取引等利益	4	0
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	0 (-)	△0 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	45	1
うち人件費(△)	20	△0
うち物件費(△)	21	1
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	1
業務純益	9	△2
<b>コア業務純益</b>	<b>9</b>	<b>△1</b>
臨時損益	8	11
うち株式等関係損益	△0	△0
うち不良債権処理額(△) ②	0	△4
うち貸倒引当金戻入益 ③	7	7
うち償却債権取立益 ④	0	0
経常利益	17	8
特別損益	△0	△0
税金等調整前中間純利益	17	8
<b>中間純利益</b>	<b>10</b>	<b>6</b>
与信関係費用(①+②-③-④)	△7	△9

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

## コア業務純益 9億円(前年同期比 △1億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



## 有価証券関係損益 △0億円(前年同期比 △0億円)

(億円)	26/9期	前年同期比
国債等債券損益	-	0
売却損益	-	0
償還損益	-	-
株式等損益	△0	△0
売却損益	-	△0
償却額(減損処理)(△)	0	0

## 与信関係費用 △7億円(前年同期比 △9億円)

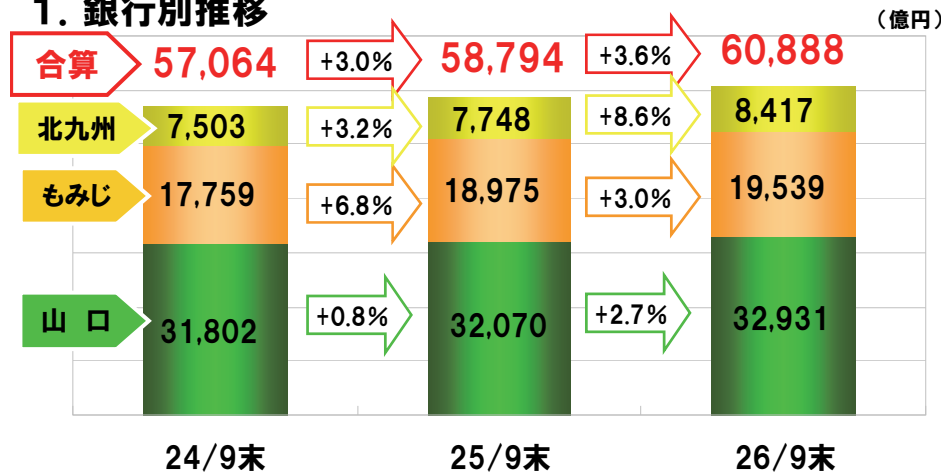
(億円)	26/9期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△8	△6
個別貸倒引当金繰入額	1	△2

# 預貸金の状況

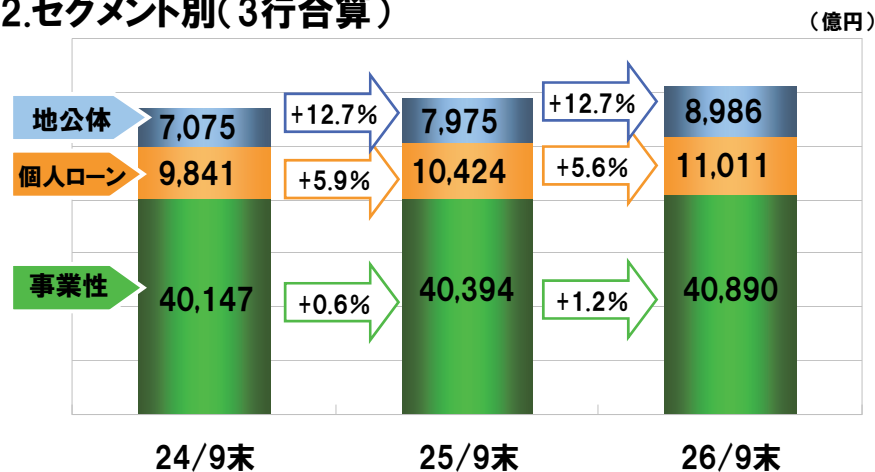
- ◆貸出金：個人ローンなどの良質な貸出資産を積上げた結果、前年同期比2,093億円増加し、総貸出金残高6兆円超。
- ◆預金：オーバーローンを解消した北九州銀行をはじめとして、総預金残高は前年同期比3,811億円増加。

## 貸出金

### 1. 銀行別推移

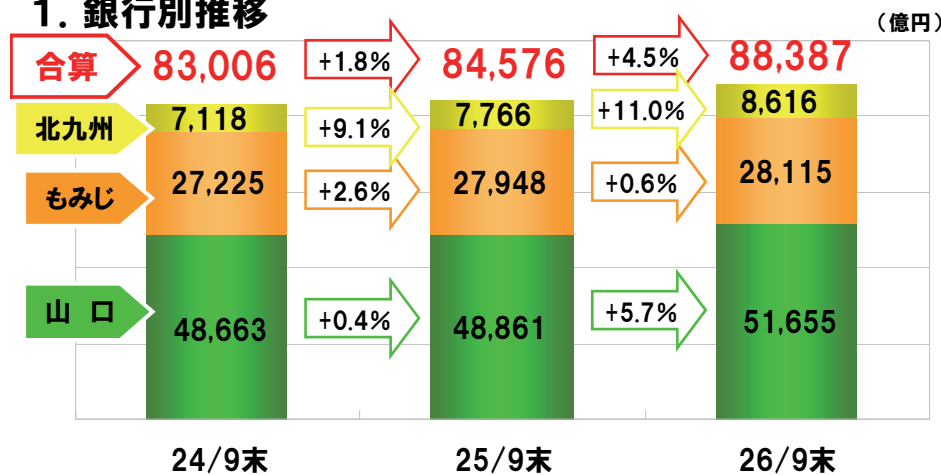


### 2. セグメント別(3行合算)

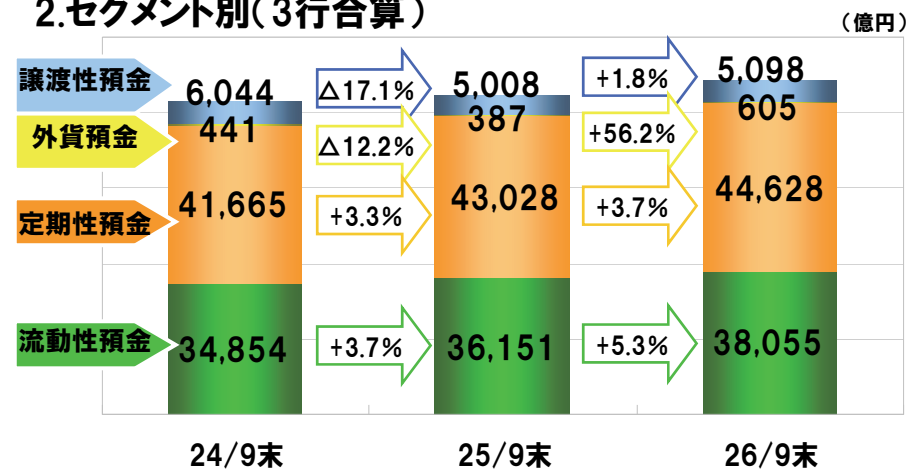


## 預金

### 1. 銀行別推移



### 2. セグメント別(3行合算)



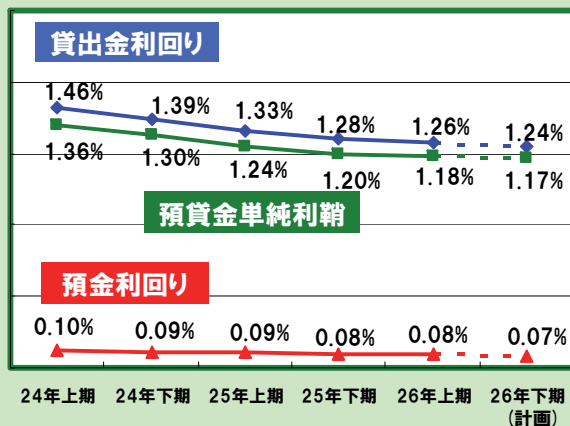
※記載計数は国内店勘定。

# 期中平均利回りの推移

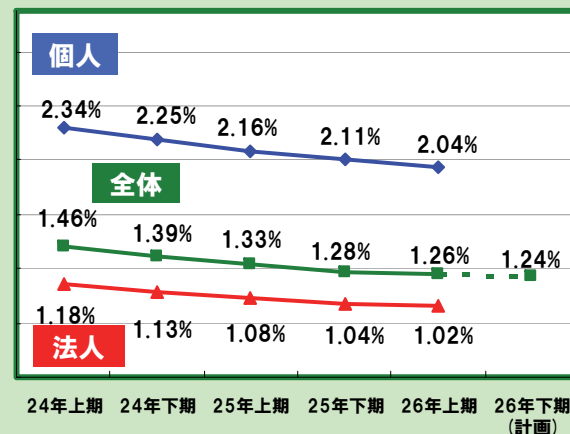
- ◆市場金利の低下が継続しており、依然として貸出金利回りは下方推移も法人向け貸出金利回りは下げ止まり傾向。
- ◆引続き、相対的に利回りの高い中小企業向け及び個人向け貸出に注力し、利回り低下を抑制。

## 山口銀行

### ○預貸金利回り

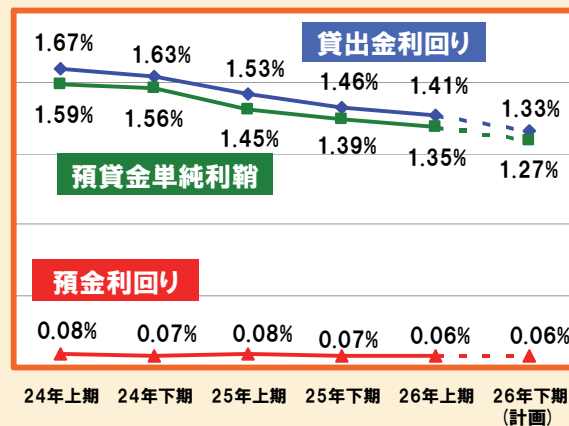


### ○法人・個人別貸出金利回り

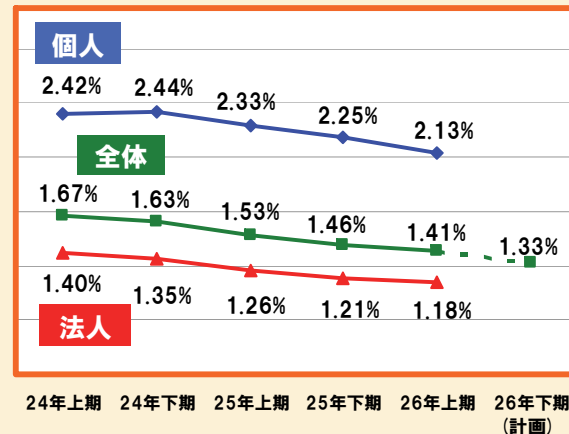


## もみじ銀行

### ○預貸金利回り

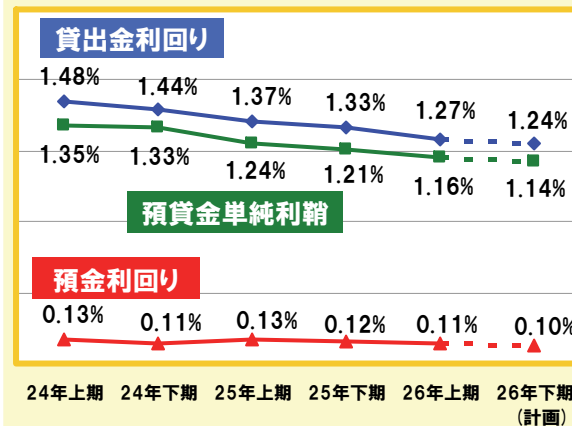


### ○法人・個人別貸出金利回り

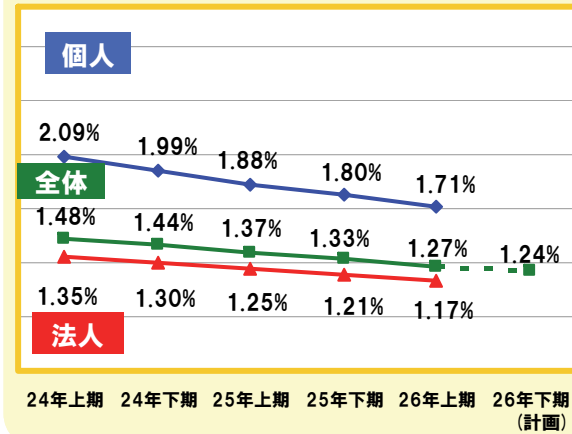


## 北九州銀行

### ○預貸金利回り



### ○法人・個人別貸出金利回り

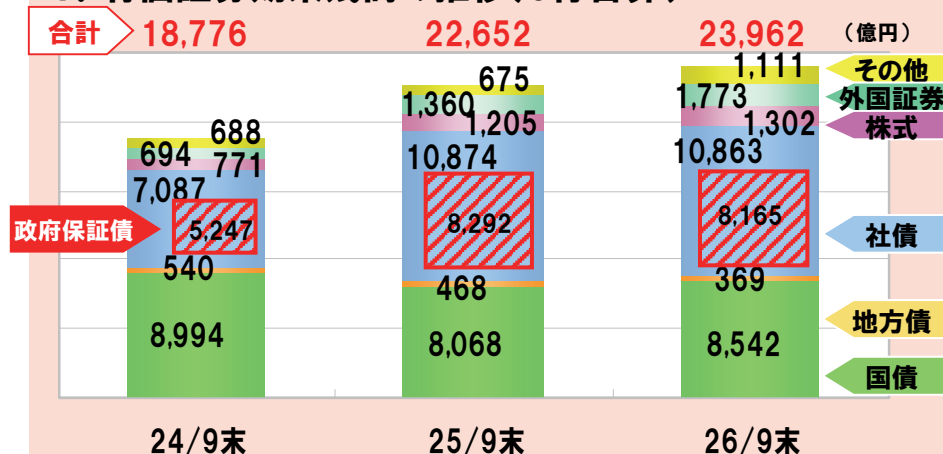


※利回り・利鞘は国内店分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を切捨表示。  
 ※法人・個人別貸出金利回りは実績のみ表示。

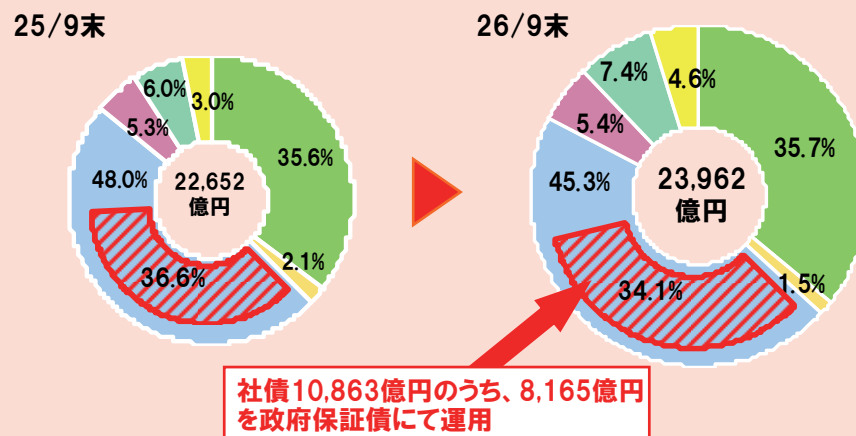
# 有価証券残高・評価損益の状況

- ◆機動的な売買により、資金利益及び売買損益を確保。
- ◆株式評価額が増加し、有価証券評価益は**747億円(前期比204億円増加)**の水準。

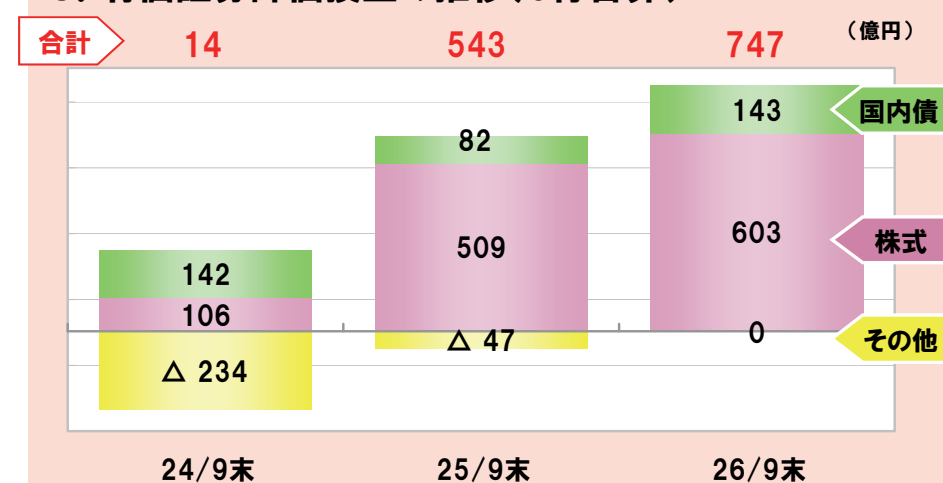
## 1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



## 2. 有価証券構成比(3行合算)



## 3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



## 4. 保有債券のデュレーション (年)

山口銀行	25/9期	26/9期	前年同期比
国内債	4.79	4.50	▲0.29
外国債券	3.71	4.34	+0.63

もみじ銀行	25/9期	26/9期	前年同期比
国内債	5.16	4.03	▲1.13
外国債券	3.69	2.68	▲1.01

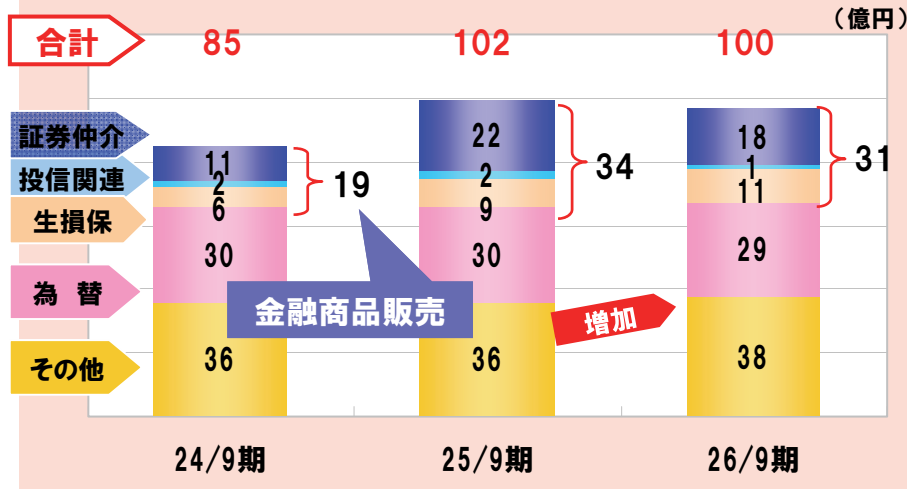
北九州銀行	25/9期	26/9期	前年同期比
国内債	6.18	9.98	+3.80
外国債券	-	-	-



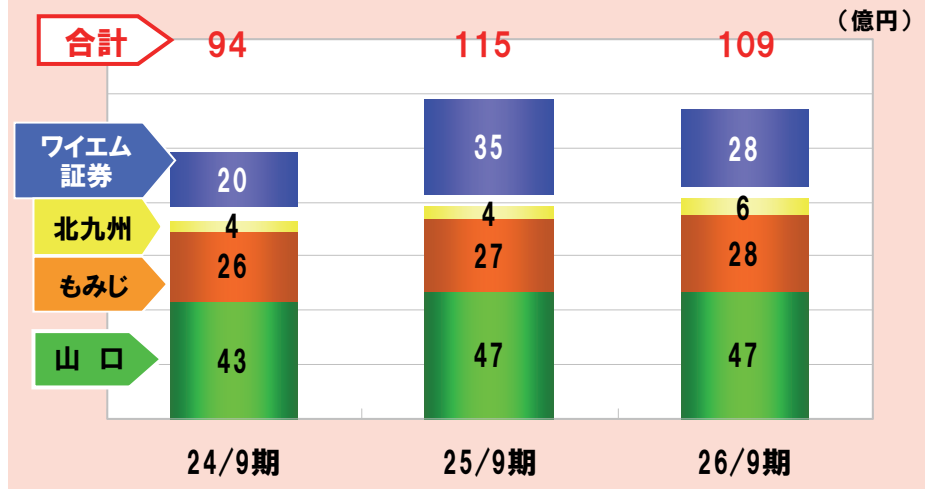
# 役務収益の推移

- ◆株式市場が好況であった**前期比較**では**微減**となったものの、引続き金融商品販売手数料を中心に**高水準を維持**。
- ◆ビジネスマッチングなど新たなソリューションビジネスの展開により、**その他役務収益は増加**。

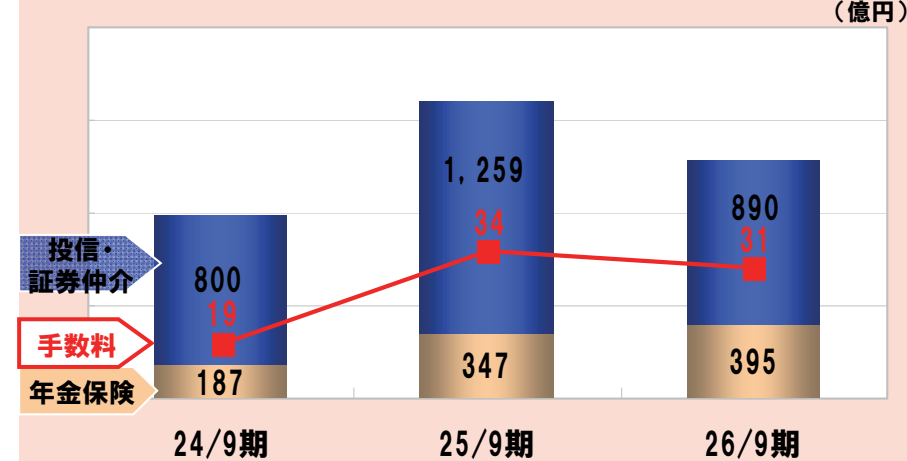
## 1. 商品・サービス別役務収益(3行合算)



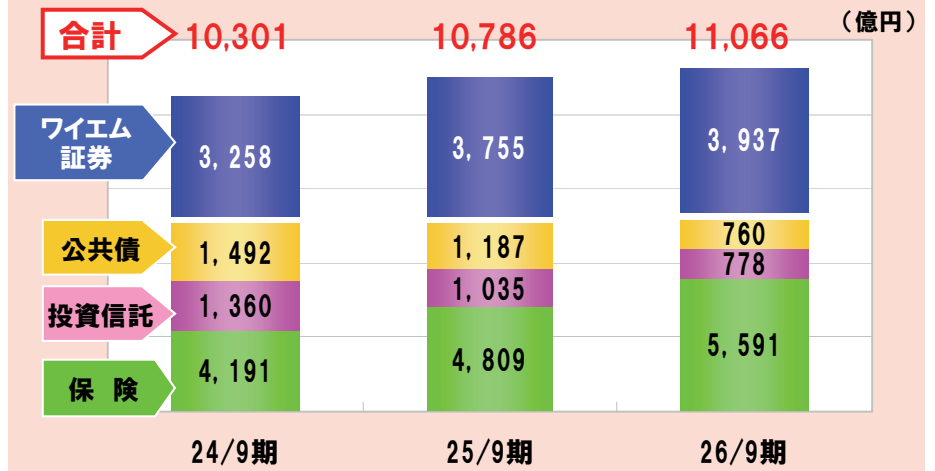
## 3. グループ企業別役務収益(ワイエム証券を含む)



## 2. 投信・証券仲介、年金保険販売実績(3行合算)



## 4. グループ個人預り資産推移(ワイエム証券を含む)

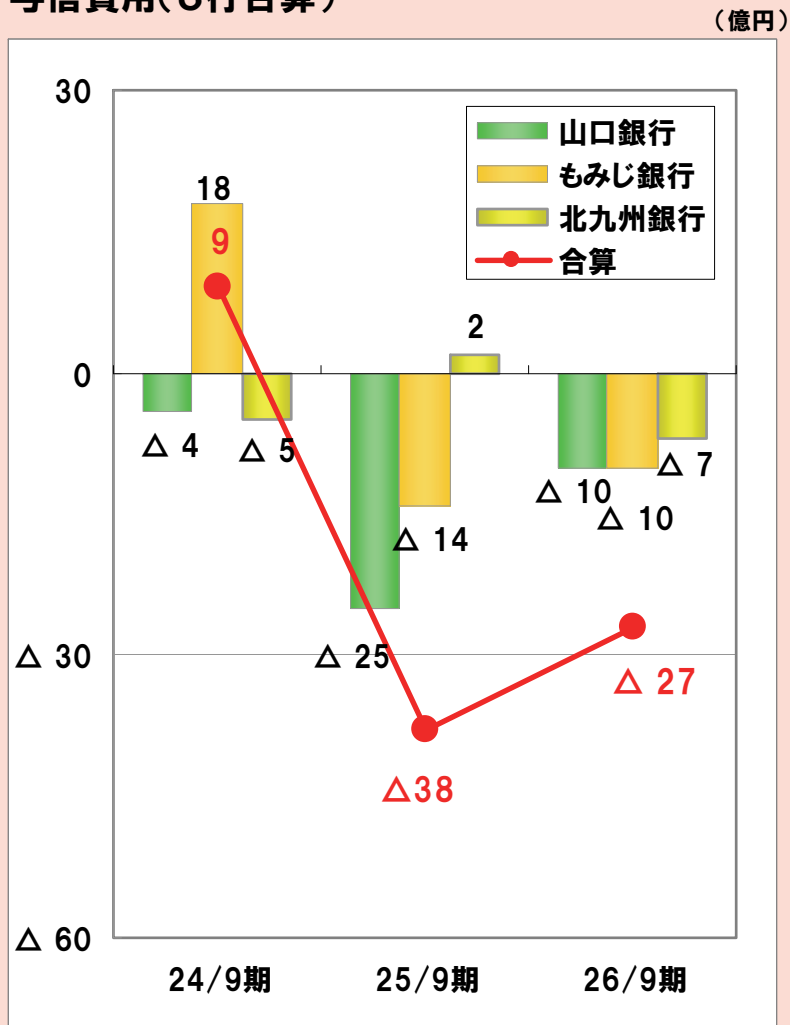


※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

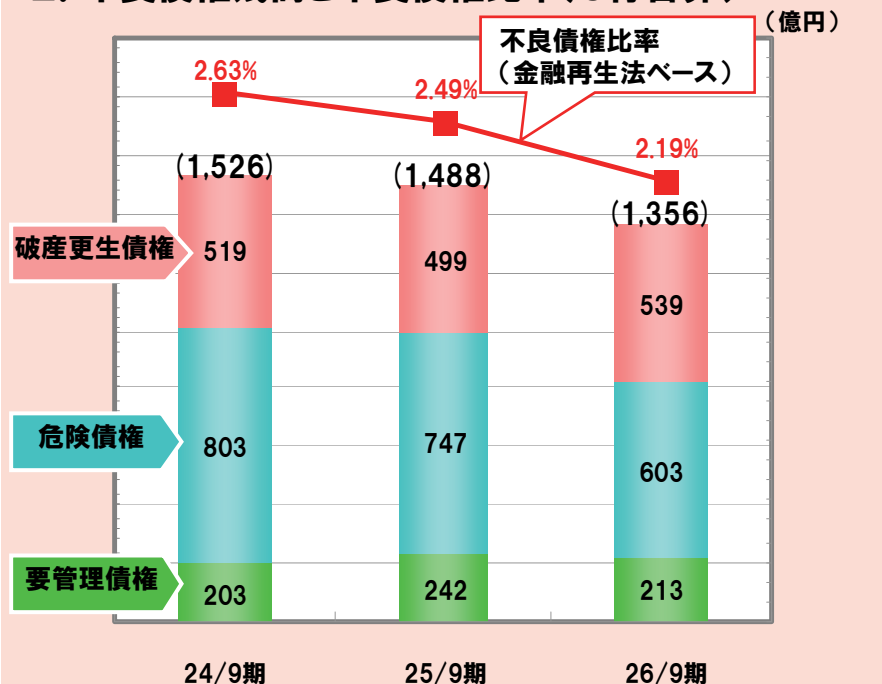
# 信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、3行合算で前年同期比10億円増加(貸倒引当金戻入益が減少)して△27億円(利益計上)。
- ◆不良債権残高は、前年同期比132億円減少。不良債権比率も前年同期比△0.30%と大幅に改善。

## 1. 与信費用(3行合算)



## 2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)



### [業種別開示債権](3行合算)

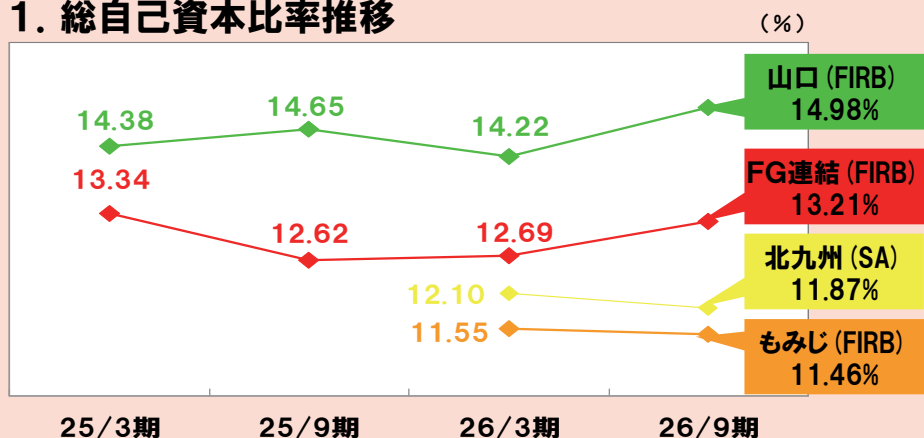
(億円)

	25/9期	26/9期	増減
開示債権合計	1,488	1,356	△ 132
製造業	246	232	△ 14
建設業	202	174	△ 28
卸売・小売業	244	229	△ 14
不動産業・物品賃貸業	162	146	△ 16
各種サービス業	316	284	△ 31
その他	315	288	△ 26

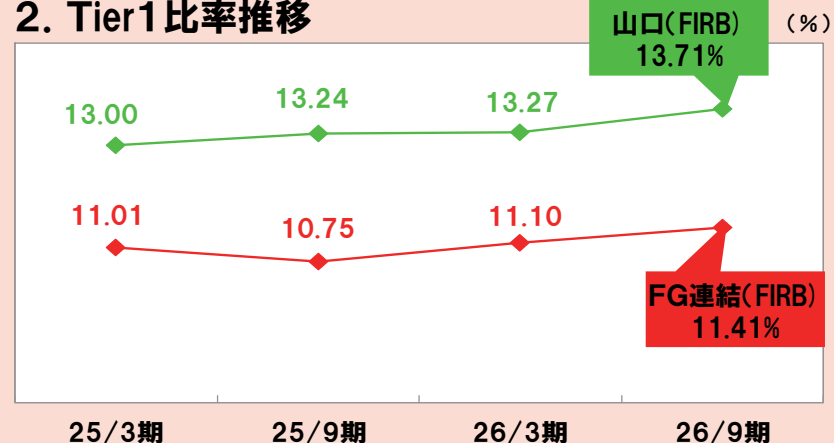
# 自己資本比率の状況

- ◆平成26年9月期の**総自己資本比率13.21%**、**Tier1比率11.41%**と、引続き十分な水準。
- ◆平成25年度に**優先株式の消却**などを実施し、**資本の質を改善**。

## 1. 総自己資本比率推移

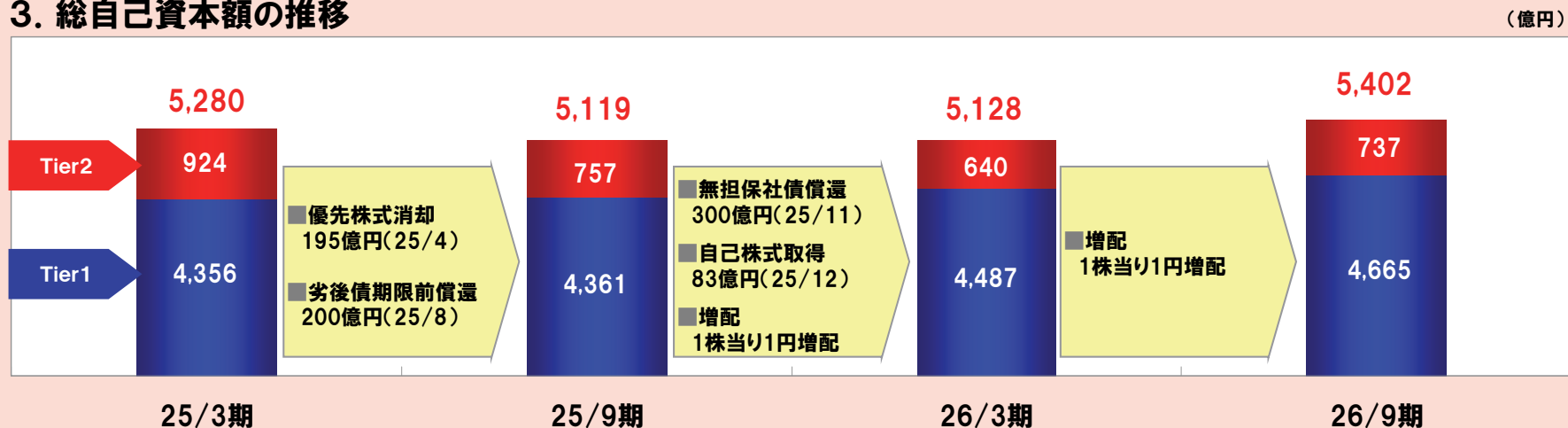


## 2. Tier1比率推移



※山口フィナンシャルグループ及び山口銀行は平成25年3月期より国際統一基準(バーゼル3)により算出。もみじ銀行及び北九州銀行は平成26年3月期より国内基準(バーゼル3)により算出。  
 ※山口フィナンシャルグループ、山口銀行及びもみじ銀行は信用リスク・アセットの算出において、基礎的の内部格付手法を採用。北九州銀行は標準的手法により算出。  
 ※自己資本の構成に関する開示事項については当社ホームページ上に記載。

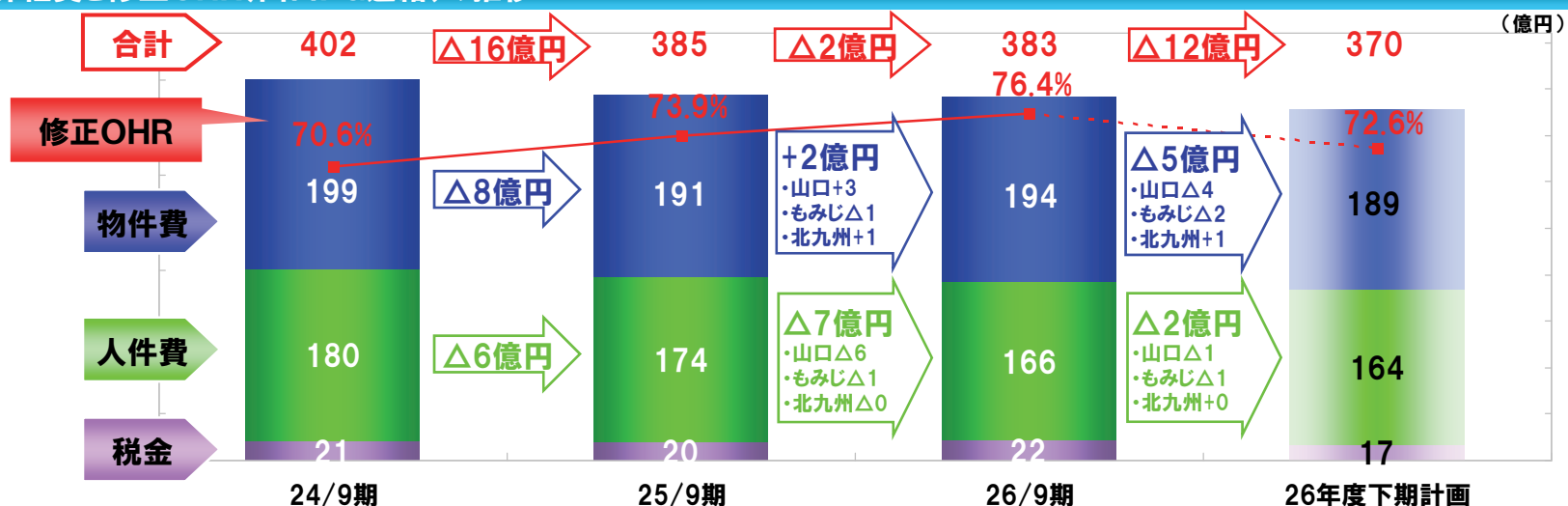
## 3. 総自己資本額の推移



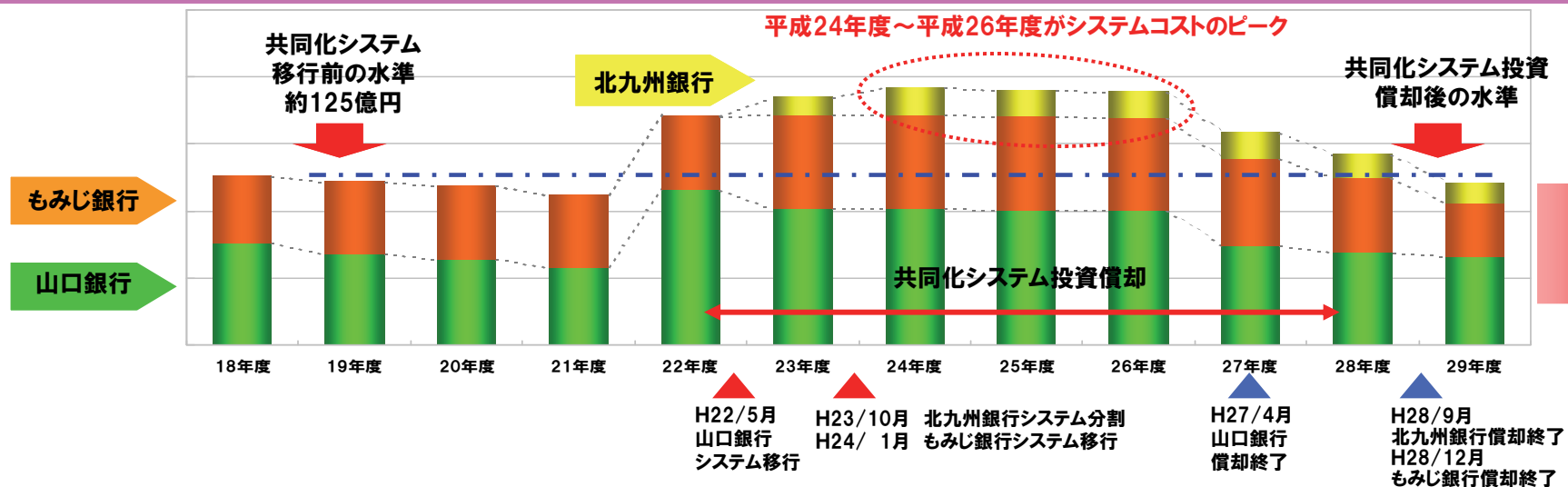
# 経費の推移と見通し

- ◆平成22年度より増加していたシステム経費のピークは**今年度が最終年度**。
- ◆平成27年度以降は、**システム・事務共通化の効果**を最大限に活用するステージへ進む。

## 3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



## システムコストの推移(イメージ図)



# 平成27年3月期の業績予想

- ◆平成27年3月期は、貸倒引当金戻入益(利益計上)や有価証券関係損益が減少し、減収減益を予想。
- ◆平成26年5月公表の業績予想から、**経常利益で5億円、当期純利益で20億円**それぞれ上方修正。

## 1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,470	△ 140
コア業務粗利益	1,127	△ 10
コア業務純益	288	1
経常利益	420	△ 78
当期利益	260	△ 52

## 2. 3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,415	△ 37
コア業務粗利益	1,071	△ 2
資金収支	936	△ 13
役員収支	133	9
経費	754	△ 14
人件費	330	△ 16
物件費	383	△ 1
コア業務純益	316	11
経常利益	453	△ 47
当期利益	304	△ 26
与信費用	△ 26	42

## 3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比
経常収益	790	△ 47	490	△ 71	135	6
コア業務粗利益	598	20	361	△ 25	111	3
資金収支	516	11	320	△ 26	99	1
役員収支	81	5	41	2	10	2
経費(△)	370	△ 9	292	△ 6	91	1
人件費(△)	155	△ 11	133	△ 4	41	0
物件費(△)	196	△ 0	142	△ 3	44	1
コア業務純益	227	30	69	△ 19	20	1
経常利益	300	△ 6	130	△ 43	23	2
当期利益	200	10	90	△ 39	14	2
与信費用	△ 10	36	△ 15	7	△ 1	△ 1

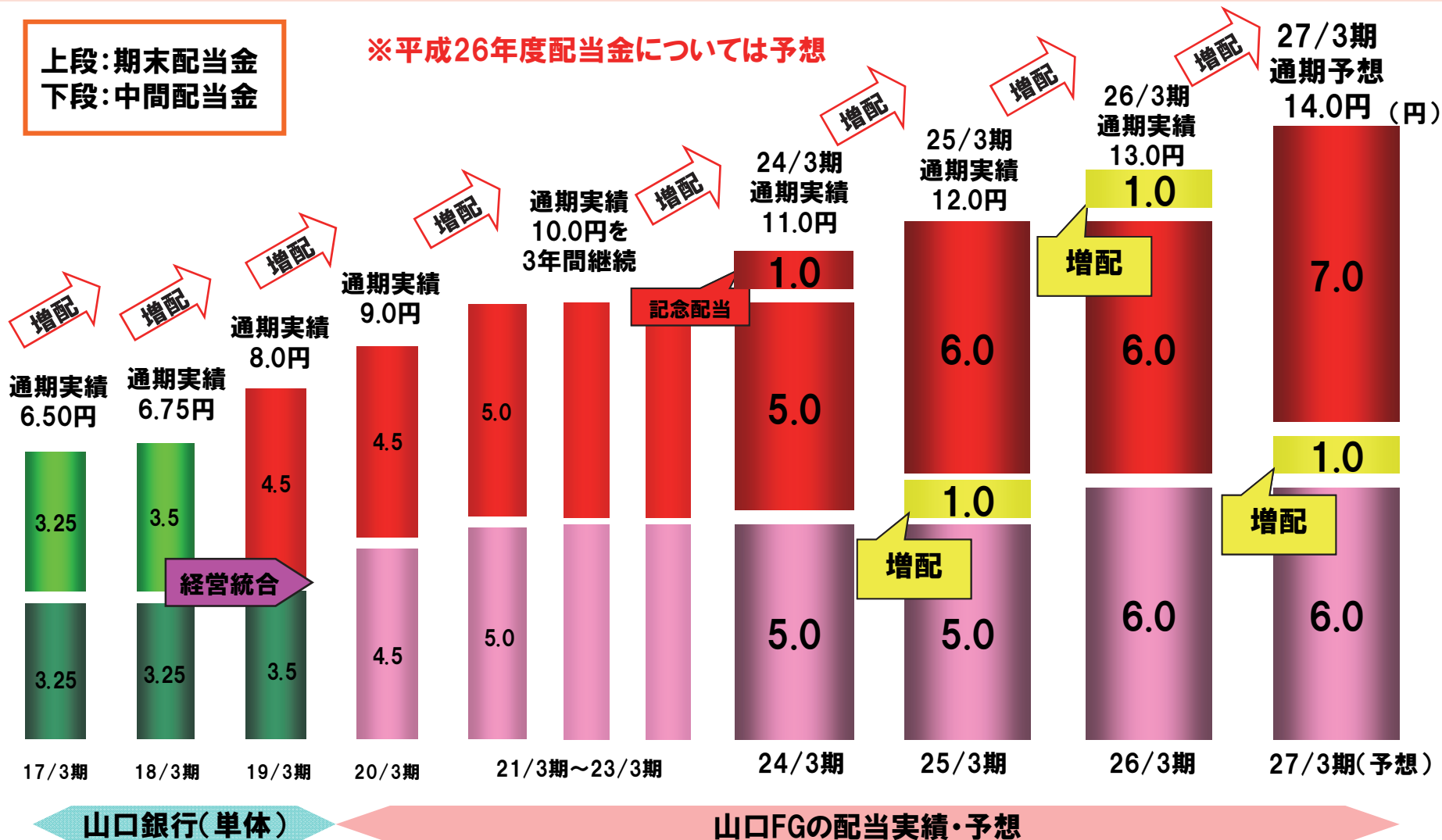
※記載金額は、単位未満を切捨て表示

# 配当実績・計画

- ◆平成26年3月期通期では、3年連続して増配となる年間13.0円の配当実績。
- ◆平成27年3月期は、4年連続して増配となる年間14.0円の配当を予想。

上段: 期末配当金  
下段: 中間配当金

※平成26年度配当金については予想

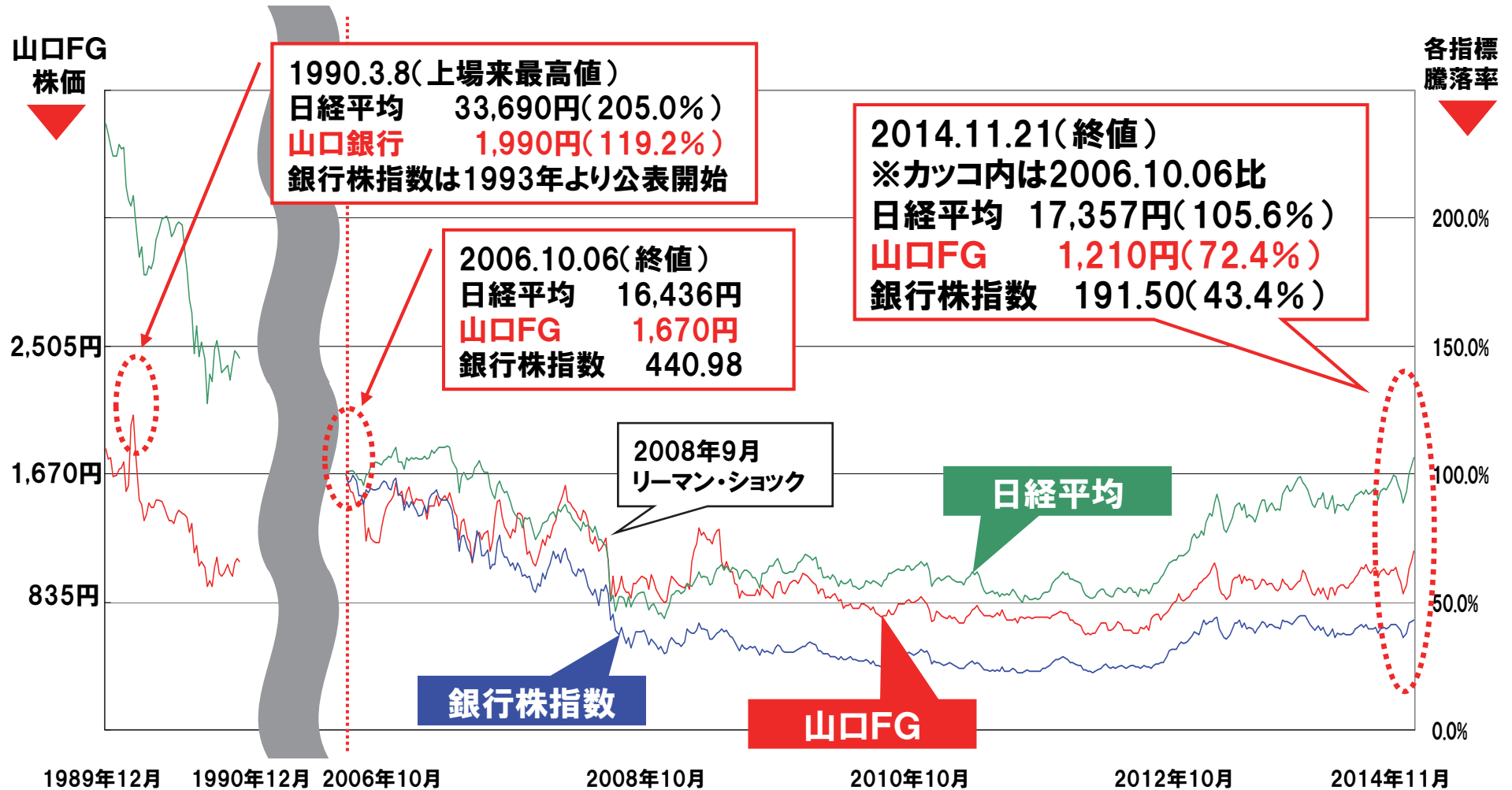


山口銀行(単体)

山口FGの配当実績・予想

# 株価推移

- ◆2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ◆直近の山口FG株価は1,210円(山口FG上場時比72.4%)。



▲ 山口FG上場時(2006年10月)を100とした週足推移